

| | | | |
|---|-------------------------------|-----|----------------------|
| 第18回 第4分科会会議録（概要） | | 場 所 | 新宿区役所 第一分庁舎7階 研修室 |
| 日 時 | 平成18年3月10日 午後6時30分～午後8時40分 | 記録者 | 【学生補助員】 洪 仙希、山口洸輝 |
| | | 責任者 | 区事務局（熊澤） |
| 会議出席者： 30名 傍聴者 0名 （区民委員： 26名 学識委員： 1名 区職員： 3名 ） | | | |
| ■配付資料 ①第18回第4分科会会議進行次第、②中高生環境会議から区民会議への提案、③班長会議協議内容、 ④第17回第4分科会議事録 | | | |
| ■進行内容 1 開会 2 本日の議事 (1) 中高生環境会議について（倉田委員） (2) 班長会議報告（3月3日） (3) 世話人会報告（3月10日） (4) 論点整理 (5) 次回日程調整 3 連絡事項 4 閉会 | | | |
| ■会議内容 【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員 | | | |
| 1 開会 ○：これより第18回、第4分科会を始めさせていただきます。いつものように、リーダーの小宮さんに進行をお願いいたします。 | | | |
| 2 本日の議事 (1) 中高生環境会議について ●：それでは、最初に中高生環境会議からということで倉田委員から15分ほどお話していただければと思います。それではよろしく願いいたします。 ●：それでは、貴重なお時間をお借りして15分ほどお話させていただきます。私は上智大学地球環境大学院修士1年に所属していますが、新宿区立環境学習情報センターで3年ほど働いており、中高生環境会議という事業を任せただけのようになりました。この中高生環境会議と区民会議の主旨が似ているので、参考にしていただければと思い、ここに報告させていただきます。事業の概要としましては、中高生の若者が問題解決に向けた行動の重要性を喚起する、という目的に向けて自分たちが住んでいる新宿区をどう変えていきたいか、環境政策能力、問題解決能力を高める機会を設けるという内容になっています。最終的に新宿区をこうしていきたいと意見をま | | | |

とめたのですが、今回はこれを参考にさせていただければと思います。事業の流れとしましては、フィールドワークを行って、まずは若者たちに新宿区を知ってもらい、その後3つにテーマを絞ってもらいました。提案テーマごとに意見書をまとめていったという流れになっています。まず、フィールドワークは新宿区にどういう緑があるのか知ってもらうために、内藤町に行きました。次に多文化共生ということで、在日のキムさんやイーインミンさんの料理を食べながら、他の国の文化や日本がどう暮らしているのか学びました。最後に西新宿の高層ビル街にも緑が存在するというので、野村ビルのサンクチュアリや京王ホテルの街路樹などで学びました。これらのフィールドワークの後、中高生達に自分達がどういうことを思ったのか、このような形で（画面参照）まとめていきました。その結果、「自転車」「緑」「多文化共生」の3つに興味があったということになりました。特に「自転車」「緑」に関しては常日頃興味を持っていて、「多文化共生」は、今回のフィールドワークの結果になっています。提案をまとめるまでのプロセスですが、「自転車」についてはフィールドワークを行っていませんでしたので、「自転車」についてのフィールドワークを行いました。最終的にこちらでまとめた意見書を新宿区の各担当の方に意見書を見てもらい、回答と質疑応答をして、この提案をどうすれば新宿区に反映させてもらえるかすり合わせを行いました。ここでは代表的な提案を挙げさせていただきます。先週お配りした意見書には、全ての提案とそれに対する区側の回答を載せてありますので、そちらを参考にさせていただければと思います。まずは「自転車」ですが、人間以外、エネルギーを消費しないので交通手段として環境によいということ、また特に中高生の交通手段は自転車が主になるので、自転車が乗りにくいということは、住みにくい町という印象がありました。提案としましては「自転車天国の日が欲しい」ということ、これは新宿区には歩行者天国の日があると思いますが、その日だけでも自転車を自由に乗れば、自転車愛好家が増えていくのではないかと考えています。次に「駐輪場の増加」です。これが最も出た案なのですが、どこかへ自転車に乗って行っても停める場所がなくて、1時間停めていただけで区に持っていかれるという、とても困った状況によくなります。しかし、いきなり駐輪場を増やせと言われても増やせるものではないという区からの回答がありまして、建物の新築や増築をする時に、駐輪場の増加をついでに実現できないかという提案をしました。また、「青信号を歩行者が渡りきれぬ長さに」という提案ですが、具体的に言うと明治通りなど高齢者の方がゆっくり渡っていると、青信号中に渡りきれないということがありました。歩行者に優しくない道が多々あるので、そういう点も改善して欲しいという提案です。ただ、自転車とは関係ないので、かっことさせていただきます。次が「緑」からの提案です。主旨は緑が二酸化炭素を吸収し地球温暖化対策になるということ、人に癒しを与えてくれるということで、緑を増やしたいという提案をさせていただきました。特に工夫を凝らした提案でもないですが、「野原や土の道を増やして欲しい」と提案しました。区からの回答は、民家の近くに野原を増やすとやぶ蚊が増えるなど弊害もあるので、難しいとのことでした。ただ新宿中央公園や戸山公園は公園の中にコンクリートがあり、それを土の道にしても特に弊害がないと思われるので、そういうことは出来るかもしれないとおっしゃっていました。あと、「道路脇・線路脇に緑を植えて欲しい」と提案しました。昔、区側からJRに言ってみたことがあるらしいのですが、今どうなっているのかわからないということでした。なので、考えてみる価値はあるのではないかと思います。これ（画面参照）は「緑」と「自転車」を合わせた提案になるのですが、車道があり、自転車道があり、歩道があり、その間に緑が点々とあるのですが、ここに駐輪をすると

いう場所の有効活用を考え、こういう道路があったらどうかという提案をさせていただきました。現実的には難しいのですが、出来るところがあればやってみたいという回答を頂きました。最後に「多文化共生」からの提案です。やはり今回参加した若者のほとんどが多文化共生について考えたことがないとのことでした。しかし、新宿区にとってはうまく活かすと確実にメリットになる面があると思います。今回フィールドワークに参加した中高生達が、少しでも多文化共生に興味を持ちテーマに選んだということは、そういうニーズが潜在的に存在すると考えています。「多文化共生」からの提案は、やはり料理を食べて文化を学ぶことで敷居が低くなったということで、まず多文化共生を学んでもらう案として「多文化料理グループを作り多文化共生の普及、促進を楽しみながら行う」があります。多文化料理グループを作り、学校の文化祭などのイベントに出向き、料理を通じて多文化を学んでもらうという提案です。後は「情報伝達方法の工夫」とありますが、これは多文化共生に関するイベントをやってはいるのですが、実際にそれが多くの人に伝わってなく、一部の人しか来ないという状況があり、それでは本当の多文化共生にならないということです。また、外国人の方は基本的に情報収集をすることが日本人に比べ疎いということで、情報伝達を工夫してはどうかという提案でした。具体的には該当に国旗とポスターを貼る、韓国の国旗の下に韓国語のポスターを貼るという案がでました。最後に「外国人に優しいまちづくりを追加」とありますが、これは基本理念として環境に優しい町づくりというもの新宿区にあると思うのですが、外国人にやさしい町づくりというものはないので、まず基盤的な理念から追加してはどうかという提案でした。最後に、今回は報告ということで参考になることがあればと思い、報告させていただきました。また、これらの提案は突き詰めて考えていったというものではないので、まだまだ一考の余地があると思います。より発展させてよいものにして下さればと思います。また、この時思ったのが、区側に発信するだけでは何も変わらないというか、区の人も困ると思うので、こちら側がボトムアップというか、提案し実行していくことが必要なのではないかと思いました。以上で発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

- : 倉田さんありがとうございました。ご質問等ありましたら、どうぞ。
- : 多文化共生ということでお料理を楽しんだということですが、料理だけでなく音楽ですね。いろんな国から来ている学生さん同士でコンサートを開いたり、料理を食べながら音楽を聞いたりと、音楽を通じた多文化共生というのも良いのではないかと思います。
- : ありがとうございます。どうぞ。
- : 若い中高生の意見を聞けたということは非常に良かったと思います。中高生を集めるというのはなかなか難しいのですが、どういう方法で集めて何人くらい集まったのか聞かせてください。
- : 集め方としては私たちも初めて中高生を集めたので、予定よりも全く集まっていないというのが実情です。小学生を集める手法に関しては、新宿区環境学習センターとしてはそれなりにノウハウがあるのですが、中高生はクラブ活動や塾が多く、平日に何回も来てもらうのは難しいので日曜日の空いている時に来てもらっていました。なので、2, 3回集まりましたが、全回とも参加してくれた人はとても少ないです。広報は各中学校に回り、チラシも配ってこの結果なので、広報が足りなかったというよりも、やり方がまずかったということです。その時、中学生に夏休みなどの長期休みに全部終わらせるのが、中高生を集める唯一の方法だとアドバイスをもらいました。その時は、夏休みが終わりかけていたので活かせなかったのですが、また、今回、環境政策

は中高生には難しすぎたという点もあり、逆に大学生は暇もあるので何人も参加してくれました。

- : 何人でしょうか。
- : 大学生が11人で高校生が1人、中学生が4人です。
- : ありがとうございます。いろいろ第4分科会で参考になるとと思います。

(2) 班長会議報告

- : それでは、次に、2月24日の分科会を受けて3月3日に班長会を開催しましたが、その結果を石塚さんから報告していただきます。よろしくをお願いします。
- : 班長会議のまとめを発表させていただきます。班長会議の議事録が今日の資料の中にあると思います。これを参照しながらお話させていただきたいと思います。大きく二つ議事がありまして、まず一つ目はどのような提言をイメージするのかです。6月25日に最終提言をすると決まっております。それに向けてどういうイメージをするかというお話です。これに関しては、下の枠で囲ってあるような全体のまとめに、各分科会の提言を入れ込む形で新宿区民会議の全体像を示す形が良いのではないかと、第4分科会の班長会としてまとめました。これに対して、今日13時から区民会議全体の世話人会に小宮世話人がご出席されているので、次の世話人会の報告でまとめて発表させていただきたいと思います。その元になるお話ですが、平成17年6月18日の第1回全体会の時に、冊子で新宿区民会議全体会資料が全員に配布されています。お持ちの方がいらっしゃれば、こういった表紙がついた冊子でございます。その15Pに区民会議提言のイメージということで、どういう提言をして欲しいか、区の事務局からの要望が記載されております。それをまとめたものが、前回班長会議議事録、中央の囲みです。区民提言のイメージ、(1)基本構想に盛り込むものとして、①区政運営の基本理念②区が目指すまちの姿(将来像)があります。(2)基本計画・都市マスタープランに盛り込むものとして①将来都市を実現するための10カ年の基本目標②基本目標を達成するための施策の方向性③区の役割、区民等の役割を踏まえた、協働と参画によるまちづくりを進めていくための仕組みやあり方、という形でまとめた提言を区長に提出することが、今の資料に明記されています。これに乗っ取った形で全体をまとめていくべきではないかということ、第4分科会の班長会議で話し合っております。次に二つ目の議題ですが、2月24日の分科会を踏まえて、最終提言に向けて第4分科会をどのように進めていけばよいかということ、話し合っています。中間発表会で各班の発表がありましたが、それを5つのサブテーマとして、一度検討項目を整理してはどうかという提案が出されました。これについては次の議題で資料を見ながら進めていきたいと思います。それを含めて、今後の分科会の進め方を議論し、今後の大まかなスケジュールを協議しました。最後に吉田先生から「若者の視点」「マンション住民(意識・行動)」「外国人の視点」が足りないのも含めて、今後検討していただくかご提案いただきました。別紙のスケジュール案とありますが、今の資料の裏側をご覧ください。6月25日が最終提言の日で、本日が3月10日です。第4分科会は月2回というペースで来ております。6月25日の最終資料をまとめる、2週間前には印刷をしなければならないので、最終の打ち合わせが6月2日になるのではないかと、このスケジュールを組ませて頂きました。見てもわかる通り時間がないのですが、これに向けてどう進めるかということ、本日は第4分科会としてまとめていきたいと思います。班長会議の報告は以上ですが、最後に班長

会議に対して、佐藤委員からご提案をいただきました。まずは、容器包装リサイクル法の見直しに対していろいろ問題があるので区民会議で問題を提議したいということですが、これは法律のお話なので、この区民会議で話し合うには少し議題が大きすぎるのではないかとお話を申し上げております。次に公共の土地、建物を売買する場合は、監視機構を設けるべきではないかということですが、これは第3分科会にお願いをするとお話をさせていただいております。その他自転車の保険、農薬の空中散布の件も、第4分科会ではないということをお話をさせていただいております。また、野菜くずの件は資源循環班で検討していただくということになっております。以上、佐藤委員からのご提案を紹介させていただきました。何か、ご質問、ご意見ありますでしょうか。よろしいですか。それでは、班長会議の報告を終わらせていただきます。

(3) 世話人会報告

- : それでは、次に世話人会の報告ですが、今日世話人会を開催したので、本当は資料をお配りしたいのですが、口頭で報告させていただきます。私と吉田先生が本日開催されました第一回世話人会に出席しました。まず、今後の区民会議の進め方に関して報告させていただきたいと思えます。一つ目は世話人会の下に仮称ですが、「起草調整部会」を設置してはどうかということです。最終的に全体の提言書を作る組織です。基本的には、各分科会の内容を編集する役割になります。提言内容をこの部会が作るのではなく、各分科会からの提言をまとめていくことが「起草調整部会」の一つ大きな役割です。また、まとめにあたっては、各分科会同じようなテーマや関係する分科会との交流とか話し合いの場を持ちながらまとめていきたいと思います。これからどのような骨格でまとめていくのかを今日も話し合うのですが、各分科会で5つくらいにテーマを決めて、そのテーマに沿って将来のあるべき姿について検討していこうということになりました。大筋は中間発表のとおりでよいのではないかと思います。もう少し中身をつめてまとめていこうということになりました。二つ目に6月25日の最終発表をどのように行うのかについて話し合いました。その中で、第3回全体会ワーキンググループというものを組織することになりました。このワーキンググループには各分科会から3名を募り、6月25日をどのような形にしていくのか、具体的には中間発表会のような形でやるのか、また、別の形でやるのかなどを主に検討していくこととなります。今日の世話人会では、6月25日に何かを行うということだけが決まり、詳細はワーキンググループで決定することが決まりました。まずは起草調整部会を立ち上げ、その後にワーキンググループを立ち上げていくこととなります。三つ目はこれからの分科会の進め方についてです。先ほど石塚さんが発表して下さったスケジュール表を、ご覧下さい。5月の中旬を目処に、分科会の最終案をまとめていきたいと思えます。分科会ごとに進捗は違いますが、起草調整部会ではできるところからまとめていく予定です。基礎調整部会が3月23日に開催され、区民会議提言のポイントを作る予定で、次回の第4分科会が3月25日にあります。3月23日に、全体でのまとめの方針が決まる予定ですので、3月25日には第4分科会での進め方も、明らかになってくると思えます。全体のまとめの期限が、5月下旬から6月初旬です。各分科会でつめた内容を、基礎調整部会が6月初旬までにまとめまして、その後、各分科会にまとめたものをバックします。最終的に各分科会で承認し、最終原稿の作成が6月15日となります。6月15日は最終原稿を業者に渡すということです。第4分科会は4月7日から、あと4回で中身をつめていくこととなります。他の分科会と話し合いもしていかなければならない

と思いますが、それは各分科会の世話人が調整していきます。ご質問ある方はいらっしゃいますか。

- : 提言案の構成はこちら（班長会議事録参照）に書いてある通りでしょうか。
- : 先ほど石塚さんからのお話にもありましたが、こちらにお示ししてある提言案の構成というのは第4分科会の班長会としては、このようにまとめていけばよいのではないかと話し合ったものです。今日の世話人会では、このように基本構想の提言とか基本計画の提言と分けるのではなく、各分科会のテーマを1つ~3つくらい決めることになりました。例えば、第4分科会で言うと「美しくごみのない訪れたくなるまち」というようなものがテーマになるとと思います。今日の世話人会での話し合いでは、基本構想に対する提言とか基本計画に対する提言という形のものはないので、こういう分け方にはならないかもしれません。
- : 各分科会3つくらいテーマを出すというイメージでしょうか。
- : 第4分科会では、「美しくごみのないまち」と5つくらいテーマがありますが、将来どうあるべきなのか、その次に今後の取組の方向性を話し合うのですが、その前に現状の考え方を書いておこうということです。大きな流れは違ってないと思いますが、ここに書いてある基本構想や基本計画というまとめ方ではないということです。
- : 少し補足させていただきます。前回の班長会議では、今後の第4分科会の進め方は、どういう提言書を作っていくのかということに左右されるというお話になりました。石塚さんからご報告があったとおり、班長会議では、「はじめに」、「基本構想への提言」、「基本計画・都市マスへの提言」、「まとめ」、「委員名簿」という形の提言書を作ったうえで、分科会ごとにレポート集を作成することをイメージして、第4分科会を進めていくことになりました。今日の世話人会では具体的には何も決まっていますが、案としてまず「はじめに」から始まり、提言とレポートを分けるのではなく、全体を提言書として捉えたいというイメージで議論されました。また、「何々に対する提言」という形は取らずに、分科会ごとにテーマを出し、そのテーマに対して将来あるべき姿はどういうものなのか、それを実現するためにはどうしたら良いのか、というようにまとめていこうということでした。分科会ごとにテーマの数は違うと思いますが、いくつかのテーマを掲げ、全体を提言書とした冊子とするということまでお話しされました。しかし、今日の世話人会には学識の先生が14名、各分科会リーダーが6名と多数お集まりいただきまして、なかなか具体的な構成等については協議されませんでした。その結果、世話人会の下に、各分科会からリーダー、学識委員1名の12名で構成される（仮称）起草調整部会を立ち上げ、そこで具体的にどういう形にしていくのかということをつめていくことになりました。
- : ということで、大分わかりやすい説明になったとは思いますが。
- : 中上ですが、お話になったことは分かるのですが、今おっしゃったことを文章にさせていただいて、第4分科会ではこういう格好で作って下さい、といわれた方がわかりやすい。世話人さんに任せますので、こういうことで、こういう方向でいこうと思うのだけれど、それについてはこういう格好でということを紙に書いて、皆さんに説明していただければよいと思いますので、よろしく願います。
- : 3月23日には第1回起草委員会がありますので、その時には文書で報告したいと思います。
- : 23日で25日の分科会で間に合うのでしょうか。
- : それは間に合わせないと（ならないと思います）。できる限り間に合わせるようにします。

- ：できる限りでは、ダメだ。
- ：はい。
- ：他に何かありますでしょうか。
- ：基本構想への提言を、予定だと3/25の分科会で討論するのでしょうか。そういう問題の立て方というようには、理解してはいけないわけですか。
- ：進め方は、この後にやろうと思います
- ：他になければ、次に進めたいと思いますが、よろいでしょうか。それでは論点整理ということで、今のお話の中で今後どうやっていくかということ、皆さんで話していきたいと思います。お手元にこういう紙をお配りしてありますすが、少々小さくて申し訳ありません。裏と表になって見にくいかもしれませんが、この画面と同じものをお配りしてありますので、両方を参照していただいて、進めていきたいと思います。(画面には)全体が入りませんので、お手元の資料でご確認いただきたいと思います。これは先ほどの班長会議の報告にもありましたが、区が目指すまちの姿、基本構想に盛り込むもの、基本計画、都市マスタープランに盛り込むものという観点で考えてあります。お手元の資料に左側に、「区が目指すまちの姿」というのがありまして、将来都市像というものがあります、その右側には、「将来都市像を実現するための10カ年の基本目標」となっておりまして、その右に「基本目標を達成するための施策の方向性」というように並んでいます。班長会議でたたき台を作成することになりまして、私が作成しまして、よくわからない部分があると思いますので、簡単にご説明します。まとめていて「環境と街美化」と「資源循環」のこの話ですけれども、「美しくごみのない訪れたいまち」ということで。環境とまち美化と資源循環の班と一緒にしてみました。これにはご意見がたくさんあると思いますけれども、見ていてわかりやすいのではないかという感じでしたので、そのようにまとめてみました。それから、一番右に該当チームが書いてありますが、だぶっているところをわかりやすくするために、欄を設けました。①環境と街美化②資源循環③温暖化④緑化⑤Eco-Eco⑥環境教育というように示してありますが、私がまとめた範囲ですが、だぶっているものはいくつもありますでした。それよりも判断に困ったのは、どういうことが言いたいのだろうかということ。一番左の「将来都市像」のまとめについては、目標として掲げたものが、同じ言い方でもその先が違って来るかもしれないというようなものは、あえてまとめてはいません。同じような言い方であるとか、まとめた方が良いという項目は、次の段階にしたいと思います。(紙面での)1番「美しくごみのない訪れたいまちへ」は、(画面の)番号でいうと1番と、2番だけです。それから、3番、4番、5番はまとまっているかもしれませんが、そんな感じでまとめてありますのでご覧下さい。これから少し班でご検討頂いて、その後遠藤さんがこの場で直してくれると思いますので、そのように進めたいと思います。今日の世話人会でもいろいろな意見が出たのですが、やはり言いたいことや言い足りないことがあったら、どんどん増やしていこうということ。もう少し中身を充実させていこうという意見もありましたので、そういう観点でご覧頂きたいと思います。先ほど、外国人の方とか、若い方とか、マンションに住んでいる方とかについての視点の指摘もありましたが、これも最後の市民相互の協力で成長するまちということで、10カ年の基本目標等に何らかの形で入れていけば、格好はつくのではないかと思います。外国人の方と、マンションに住んでいる方など、あまりお付き合いができていないということがあるらしいので、また、第4分科会は比較的年齢層が高い方々の会なものですから、若い人の意見があったら是非分科会の中に取り

込んでいきたいと思えます。

- ：途中で意見を言って申し訳ありません。中間発表までは時間もなかったので後戻りすることは言わないようにということでそのまま終わったわけですが、この5つのサブタイトルがありますが、小宮さんのお話だと中項目という形になるようですけども、5つを読みますと、「美しくごみのない訪れたいまち」、これは新宿区の自然環境とか物理的環境の整備、保全を言っている項目だと思います。それから、「地域から地球環境を考えるまち」というのは、地球環境全体を考えた場合に新宿区の環境対策はどうあるべきかということだと思います。それから3番ですが「人とみどりにやさしい心を育むまち」というのは、確かにみどりという言葉は入っていますが、心を育むまちということなので、住民の意識啓発であるとか、環境学習、そういうことなのではないかと思えます。「みどり」という言葉を入れたければ、むしろ1番の「美しくごみのない訪れたいまち」に、「みどり豊かな」というような言葉で入れた方がよいのではないかと思えます。後の4番と5番についてはこれでよいかと思うんですけども。その辺りの中身をはっきりさせておかないと、6つの班で討議した時に、どこに割り振るかという時に迷うと思えますので、そこを皆さんにも検討して頂きたいと思えます。
- ：その通りだと思います。今までは皆でやってきたので、あまりそういうところを検討していませんでしたが、これから進めているうちに、明らかになってくるものもあると思えます。もちろん直せばよいと思えます。大きく変えることは無理だと思いますが、なるべく見る人に分かってもらえるような、あるいは区に分かってもらえるような言い方にしていきたいと思えます。そういう観点でご検討下さい。今日このまとめをして、タイムリミットまで、分科会が何回かあります。次回の分科会には、もう少しきちんとフレームが決まると思えます。それと今日のまとめを合わせながら先に進めていきましょう。ということで、8:30まで後45分くらいありますので、今日はまとめきれないかもしれませんが、やれるところまでやりたいと思えます。よろしくお願いいたします。
- ：先日20日頃に、この第4分科会で今度話し合うときの内容構成という用紙を送って下さって、それについての返事を班長に出した人と、事務局に送った人がいるのですが、これの回収はどのようにされているのでしょうか。
- ：これを書いて頂いたのは、その次の分科会の時に、班の中で整理してお話してもらうために作っていただいたものですので、事務局が回収しているというわけではないのです。事務局にお送りいただいたものについては、コピーして皆さんに配りするようにしております。

(4) 論点整理

グループワーク

- ：8時15分になりました。これから色々意見を頂いて、皆で進めていきたいのですが、思いついたことであるとか、こうした方がよいということがありましたら、お話いただきたいと思えます。
- ：私たちの班（資源循環班）で話し合ったのですが、基本目標を達成するための施策の方向性というところでその横に色々書いてありますが、いくつかの班で重なっている部分があります。例えば「収集日以外のおしトラブルの防止」というところは、私たちの資源循環班も関わっていますし、環境教育班も啓発活動という意味で関わっていると思えます。こういうところを洗い出して、

重なっているところを矛盾がないように、どのようにまとめていくか話しあってはいかがでしょうか。それとごみについては美化班と大分考え方が違いますので徹底的に話し合っていきたいと思います。美化班においては、美観を損なうものというような捉え方をしていच्छゃると思いますが、私たちはごみを資源としてどう活かすかという観点で捉えています。

- : ごみについても資源の話と、まち美化のごみとでは、ものすごく分かれていることは分かってまとめています。一つはごみを半分にしようとして書いてあって、もう一つはきれいにしようということ、みんなで片付けようとか出さないようにしようとか、そういう理解です。
- : 字が気になったのですが、「将来都市像を実現するための10カ年の基本目標」の「区内から発生するごみの量を1/2に減量すると伴にごみ処理コスト、エネルギー、環境負荷を削減」の「伴」がこのともではなくて、共生の「共」だと思えます。それから、「ゴミ、放置自転車、迷惑看板などの生活環境の改善」のところで、下から2番目の「外国人、中間市民との共生」というところの「中間」が、屋間の「屋」ではないかと。揚げ足とるようで申し訳ありません。
- : はい、すみません。ありがとうございます。それでは環境とまち美化班、お願いします。
- : 私は中間発表を通じて、おおよそ今後のまちづくりの基本理念、基本構想に触れると思うのですが、「潤いのあるまちづくり」というのは今度の17年度の区民の意識調査でも出ているように、騒音だとか大気汚染を何とかしてくれということを考えても、もう少し静かで、みどりが豊かであるように、この20年30年続けてきた高度成長のまちづくりは、大きく方向転換を求められるのではないかと、という印象を中間発表の各分科会の発表を聞くなかで、こういう認識の一致をこの(第4)分科会ができるかどうかということが、一番大きいのではないかと考えています。この辺りを是非世話人会でも班長会でも、深めていただきたい。個々の積極さは、積極的に出ていて望ましいと思うのですが、相当基本的なことがしっかりしないと、これらの具体的な具体策まで、前進をしないのではないかと、これは中間報告の中でもそのような問題は、とてもできない問題だとか、これは予算がないからそういうのは無理だとか、そういうことにこだわらずに議論しようという提案もありましたけども、先ほどの学生さんのまとめの方法を見ても、これは途中で区の方に返事をもらったりしているから、区の方では、例えば自動車道を狭めて自転車道を作れと言うと、車道を狭めることは簡単にはできませんという返事がくるか、これは予算がないから当面は無理ですとか、無料問題では受益者負担の原則があるから無料にはしにくいと。こういう返事は、今やっている区の職員の返事なら、それはそうかもしれませんが、それを乗り越えないと私たちの積極さが活かされていかないと、思います。したがって、理念の基本構想の領域がこの提言の質に左右されることになる。これからは人間本位の、あるいは生活者の視点で、という言葉も出ていましたけれども、こんなことを強く感じますので、よろしくをお願いします。
- : もう他にはご意見いいですか。次の班にいてもよいですか。それでは、教育班、お願いします。
- : 教育班ではまとめ方のやり方として、こういうふうにわかりやすく整理しやすくしていこうということを話し合っていました。今日、見たばかりですので、そんなに意見出すこともないのですが、最終的に先ほど言われたテーマに沿ってというやり方ならば、これを見ながらできるだけまとめていこうかと作業中です。すみません。
- : まだ4分ありますけれども、今日全部できるとは思っていないのですが、とりあえず(次の班)、願

いします。

- : eco-eco 班ですけども、この表で見させていただきますと、eco-eco という一番左端の枠のところでは、右側の番号が⑥だとか④だとか書いてある部分があって、これは⑤にさせていただけたらと思います。緑化班も、こちらがあるということでしたら、それはそれで別だと思っております。他に該当チームのところには番号が一つだけしかついていない欄が多いですけども、そこに渡辺さんがおっしゃいましたけれども、例えば、1番「美しくごみのない訪れたいまち」の真ん中に、「収集日以外のゴミだしトラブルの防止」は、まち美化だけでなく、資源循環班も関係ある、あるいは教育班も関係あるとおっしゃっていましたが、①とだけしか書かれていませんので、ここに渡辺さんがおっしゃっていたように②と⑥も入れて、最終的に数字が重なるようなところの調整をしていく方が、話が早いのではないかと思います。ということで、⑤Eco-Eco 班としては上から3つ目の「区、区民、事業者、業者及び関連するNPOとの協同化促進」のところ、②が入っていますが、ここに⑤も入れていただきたいということ、その3行下「地域ぐるみの省エネ推進」のところ③が入っていますが、ここに⑤を入れていただきたいということと、そこから9行下「外国人・昼間市民との共生」のところ、エコマネーを使っていたらいいので、⑤を入れてもらいたい。それから裏側にいきまして、大きなサブテーマの「地域から地球環境を考えるまち」の上から2つ目の枠に、③だけしか入っていないのですが、⑤、もしかしたら⑥も入るかもしれないと思います。それから他班のことですが、3番「人とみどりにやさしい心を育むまち」のところの「子供たちの環境教育システムの再構築」に、⑥しか入っていないのですが④緑化班も入るのではないかと提案させていただきます。
- : あと、言葉のところ一番大項目のところの将来像で「美しくごみのない訪れたいまち」とで、ごみだけに焦点があたってしまうので、先ほどの田中さんのご意見にありましたように、例えば「潤いのあるまち」であるとか、「住みよいまち」というような形容詞的な「美しく潤いのあるまち」のような書き方がいいのではないかと思います。そうすれば、大気汚染とかそういう問題も入れられるのではないかと思います。そういう意味でいくと、3番目もやけに「みどり」ということでこだわりすぎている気がするので、もう少し自然、川の話も書いてありますから、もう少しその辺りに配慮できるような、もう少し広げた概念の言葉にしたほうがよいのではないかと考えました。あと、Eco-Eco のところ、で環境と経済のハーモニーという言葉がありますが、ハーモニーという言葉は気持ち悪いので慣用句的なことですが、ハーモニーというよりは好循環という言葉の方がよいのではないかと、というような意見でございます。
- : 「みどり」の扱いは、班長会議に委ねることよろしいですか。
- : 今話し合いましたが、私たち逆に「みどり」にこだわります。
- : では温暖化班、今の時点で何かあれば、どうぞ。
- : 温暖化の方は、皆さんと違う視点になったかもしれませんが、最初の「区が目指すまち姿（将来都市像）」はちょっと脇に置いておいて、「将来都市像を実現するための10カ年の基本目標」をメインに考えた方が、作戦が立てやすいのではないかと話を話しました。
- : それでは、来週の月曜日13日に班長会議があります。今日は金曜日ですので、来週の月曜日まであまり日がありませんけれども、この続きを班長会議でつめていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

<拍手>

- ：この話はひとまずここで終わりにさせていただきますけども、先ほど、第3回全体会ワーキンググループについてご説明をしましたが、第1～第6分科会までそれぞれ3人メンバーを出すことになりました。つきましては、第4分科会からも3人出すこととなります。ワーキンググループは6/25に何をどのようにやるかということが、話し合いの中心になります。このワーキンググループに参加希望の方がいらっしゃいましたら、お手を挙げていただければと思います。
- ：月に何回くらいありますか。
- ：参考ですが、世話人会の時にもご案内した件なのですが、中間発表会時には11月に中間ワーキンググループを立ち上げ、全くゼロから始めて、2月までに4ヶ月で合計4回のワーキングで中間発表会を行った実績がある、ということしかお知らせできません。
- ：中間発表では、4ヶ月で4回、月1度くらいやるのかと思います。若干2/19の中間発表会は発表会そのものが初めてで、慣れないこともあって時間的に切羽つまったということもあったとは思いますが、それを踏まえても今度の場合は慣れてきたというか、だいたい同じような感じではないかと思います。班長会議で決めていくほかはないでしょうか。もし皆様からお名前が挙がったら、お引き受けいただけますでしょうか。
- ：私たちの班から、植木さんを推薦したいと思います。
- ：今、植木さんの声が挙がりましたが、拍手いただけますでしょうか。

<拍手>

- ：それでは、あと2人は、班長会議で決めさせていただいてよろしいですか。もし班長会議出席者以外の方が指名された場合には、みなさん、よろしく願います。それから起草部会は私と、第4分科会の学識の先生1人とで参加します。本当は書くのが上手な人がたくさんいると思うのですが、私がやらざるを得ないということです。よろしく願います。それでは、最後になりますけども日程確認ということで、第19回から第23回までは日時場所が決まっておりますが、第24回は場所が未定となっております。追ってご連絡いたします。もう何ヶ月もありませんので是非参加して頂きたいと思います。連絡事項ありますか。

3 連絡事項

- ：連絡事項ということで事務局の方からご連絡させていただきます。皆さん、地区協議会をご存知だとは思いますが、10地区で各地域ごとに出張所単位で行っている地区協議会というものがございませぬ。皆さんの中でも地区協議会の委員になっている方もいらっしゃるかもしれません。その地区協議会と区民会議との関わりをどのようにするのか、という一つの課題がありました。当初は区民会議と地区協議会とで懇談会を開いてはどうかということでした。しかし、地区協議会の方ではつまっていないという状況ですので、互いに考えていること想っている事を言い合おうという意見交換会を3/25に開催致します。その際に区民会議の代表として各分科会からリーダー、サブリーダー、具体的に言いますと小宮さん、石塚さん、遠藤さんに第4分科会の代表として出席していただくのですが、3/25の意見交換会の場で、是非地区協議会の方にこういうことを言って欲しい、聞いて欲しいということがありましたら、書面や、簡単なメモで結構ですので、お渡し頂ければと思います。事務局の方に提出いただければ、リーダー、サブリーダーの方にはお渡ししますので、よろしくお願い致します。3/25は新宿区役所の大会議室で10時から行います。以上です。

- ◎：皆様お疲れ様です。中間発表の前々から皆様の様子をずっと見させていただきまして、特にコメントすることもなく、大変素晴らしいパフォーマンスを拝見しております。まもなく最終提言に向けての活動を開始されて、今日小宮リーダーからご説明もありましたし、私も一緒に世話人会の方に出させていただきました。世話人会の方は、全体のスケジュールを見ながら一生懸命考えていかなくてはならないというようになってきています。その際に、ご発言させて頂いたのですが、分科会の皆さんにとっては期限というのは大事ですから、守るということも約束なので果たさなければいけません、その前に提案とか意見はたくさん用意しておいた方が良いと思います。当然、対立する意見もあるかもしれませんが、それをどのように整理するかは私達の知恵の出どころですが、良い意見、良い提案は惜しみ隠さず出していきたいと思っています。かなり素晴らしいご意見とかご提案が各分科会から出ていますし、第4分科会の中間発表会は大変素晴らしいものがあったと思います。周りで聞いていたのですが、来られているお客様は第4分科会を特に評価されていましたので、これも皆さんの成果だなと感じ入っていました。大変な日々が続きますけれども、皆さんのお話を聞いていると色々なもの持っていますので、くどいようですが「玉出し」は惜しみなく、どうぞいろいろと出していただければと思います。引き続き私も応援していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。
- ：吉田先生、輿水先生、よろしくお願い致します。今日はこれで終わりにしたいと思います。ご苦労様でした。

4 閉会